

とものに

Vol.12
2025.1

がん相談支援センターだより

心のよりどころに

がん患者サロン「やまぶきの会」

がん患者さんやそのご家族は、がんとともに生活するなかで、あらゆる悩みや不安を抱え、また遺族としてもさまざまな思いを巡らせ日々を送っています。

そのようながん患者さんやご家族、ご遺族の話を

聞き、背中を押してくれる場が、がん患者サロン「やまぶきの会」です。がん経験者、患者遺族、僧侶、医師（医療者）がそれぞれの立場から聞き手となり、参加者をお迎えしています。

患者と家族がともに支えられる場を



たけうち かおり
竹内 香さん

2006年に実父が大腸がんと診断され同年に他界。遺族の立場から患者サロンで活動。

父が大腸がん診断された2006年当時は、がん対策基本

法ができる前だったので、家族に対するケアの必要性も認識が薄く、「家族のことは家族で考えて」という時代でした。今のようのがん相談支援センターみたいな専門部署があれば、もっとじっくり相談できたなと思います。

がん患者サロンには、無理に話さなくてもいいというお約束があります。聞かれても話したくないことは、話さなくても大丈夫です。診察室でお医者さんや看護師さんに聞けなかったこともお話ください。私が答えられない事でも、一緒に考えさせていただいたり、がん相談支援センターにおつなぎすることもできるので、そこが病院内サロンの強みと利点だと思います。

がんを共通項に対話を



よこい かよ
横治 佳世子さん

2度の乳がん経験を経てピアサポーター※として活動。

30代後半で初めて右胸の乳がん診断され、その10年後に、もう片方の左胸にも乳がんが見つかりました。この経験を

生かしたいと考え、ピアサポーターとして活動していきたいと思っています。

私自身が何かをできるとは思っていませんが、がん経験者として相手の気持ちを受け止めること、最初がんと診断されてから30年近くたった今、こうやって元気に生活できている姿をお見せることは私にできることかなと考えています。サロンでお話を聞かせていただきながら一緒に考え、不安や悩みを置いて行ってもらえれば。みなさんで同じ時間を共有し、「来てよかった」と思ってもらえるような場にしていきたいです。

※ピア・サポーター

自身もしくは家族としてがんを体験し、同じような病気を患う患者、家族に対してサポートを行おうとする人。がんと診断されて治療した人はもちろん、現在治療中の人もピア・サポーターになることができる。また、がん患者の遺族、あるいは家族同然にがん患者と深く関わってきた人も、ピア・サポーターになれる。ピア・サポーターは利用者と体験を共有し、共に考えることが期待されている。

時には休息を



法輪寺
(通称だるま寺) 住職
さの たいてん
佐野 泰典 住職

宗派の異なる僧侶たちによる傾聴ボランティア
「臨床僧の会・サーラ」代表。病院や施設、寺などで
傾聴活動を行っている。

がん患者さんは治療と家・仕事などを何度も往復しなければいけないが、それだけでは走り切れません。例えるなら渡り鳥のようなイメージ。渡り鳥は長い距離を移動するなかで、時に羽根を休めてまた飛び立ちます。参加される方がサロンでちょっと一服して、そこからまたギアを上げていこうと思ってもらえれば。私は僧侶という立場上、「こう生きなさい」とか「こういう考え方をすればいいですよ」ということを言いがちですが、サロンでは参加される方の批評や評価はいたしません。不安やお悩みを聞き、参加者と病院の良いつなぎ役ができればと考えています。

がんを経験した医師として



京都岡本記念病院
病理診断科
シニアアドバイザー
みなみかわ てつひろ
南川 哲寛 医師

病理医として長年がんの診断に携わる。
自身も大腸がんの経験者。

10数年前に大腸がんにかかり、手術と化学療法を経験しました。がん診断を専門として長年働いてきたので、自らの病状

について理解するのは容易でしたが、自分ががんにかかるとは思っていませんでした。不安に駆られながら、他のがん患者さんの経験や思いを知りたくて、ネットで患者ブログを見てばかりの日々が続きました。日頃の業務でがん患者さんのカルテを読むことがありますが、そこにはそれぞれの患者さんの不安や悲嘆の様子がうかがえます。治療についての情報は医療者に尋ねることができますが、患者さんやご家族が、安心して不安や悩みを話せる場が必要だと、自身の経験を通して切実に感じました。このサロンでは、がんの経験者の一人として私自身も話し手となりながら、患者さんそれぞれの「病いの語り」を聴かせていただければと思います。ひとりで悩むばかりではなく、患者サロンという人の輪に足を運んでみてはいかがでしょうか。

がん患者サロン「やまぶきの会」に 参加してみませんか？

現在は、各回数名（多くても5名程度）の参加がございます。
年齢や性別、がん種もさまざまな患者さんやご家族が参加されていますので、
お気軽に立ち寄ってみてください。

開催日時 第4金曜日 10時～12時 / 13時～15時

開催場所 1階 小会議室

参加対象者 がん患者さんやご家族
ご遺族（当院への通院歴は問いません）

予約は不要、参加は**無料**です。

直接会場へお越しください。

開催時間内の出入り、参加時間は自由です。

がん患者サロン利用者の駐車料金は無料です。



大切にします
こころとからだ やすらぎを

社会医療法人 岡本病院(財団)
京都岡本記念病院
がん相談支援センター

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地

TEL **0774-48-5500** (代表)

【受付時間】 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時